

- 5 グループごとに解決の見通しを立てる。
- (1) ツリー図を使って、問題点や解決策を構造化し、整理する。
 - (2) 今後の計画を立てる。
 - ア 問題を詳しく調べる計画を立てる
 - ・ 地域を歩く。
 - ・ 生活の中の問題を見付ける。
 - ・ 新聞やニュース、書籍、インターネットで調べる。
 - イ 解決策を試行する計画を立てる。
 - ・ 実験や観察で実証する。
 - ・ 制作、清掃、栽培など、活動する。
 - ・ 交流をする。

- 6 グループで決めた課題を全体に発表し、共通理解を図る。



(資源グループのテーマ)

リサイクル活動と栽培活動で資源を守り、水道がない国へ井戸を贈ろう！

(取り組む理由)

限りある資源を大切に、未来へ残したい。リサイクル活動と栽培活動に取り組む。私達が排出した二酸化炭素で温暖化が加速した。その影響もあって水不足に苦しんでいる人々に、活動の収益金で井戸を贈りたい。

(具体的な活動)

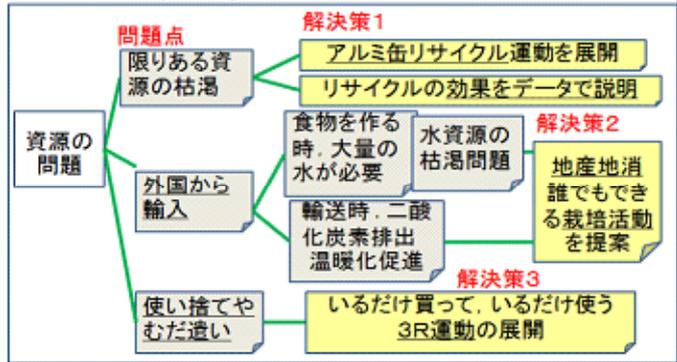
アルミ缶リサイクル活動、牛乳パック菜園活動

地球の資源の枯渇の現状を調べ、私達にできる解決策や今までの活動の経過をまとめて まつりで発信し、資源を大切にしようという意識をもってもらう。

(資源グループの発表内容)

KJ法で分類したカードに書かれた問題点や解決策を参考にしながらツリー図を使って構造化させる。

ツリー図を使って問題や解決策を整理する



資源グループの構造化図

テーマと取り組む理由、具体的な活動の3つに絞って発表させる。これは、仮の課題であって、下調べのあとに課題検討会を開いて決定すること、決定した後も、追究の過程で必要に応じて修正を加えることは可能であることを伝える。

意見がまとまっていないグループがあれば、その概要をまとめて発表させ、期限を決めて、自分たちで考えさせ、仮の課題であっても納得のいく課題を設定させる。

評価(2)ア 【思考・判断】(ワークシートの内容を評価)
 (基準B) 収集した情報を整理しながら、課題を設定したり活動計画を立てたりすることができる。
 (指導) 収集したキーワードを基に、問題や解決策を整理し、対話を通して考えをまとめさせる。

期限までに仮の課題等が決まらないグループがあれば、検討会に入って一緒に考えたり、実践などの資料を提示したりする。

3 授業の考察

- (1) 情報を、言葉を用いて整理・分析・表現する活動の工夫
 キーワードの図解の効果

仮の課題を設定する学習過程においては、まず、日常生活から集めた直接体験、間接体験から得る言

言葉ではないイメージや思考をキーワードとして言語化することで、情報としてやりとりできるようにさせた。

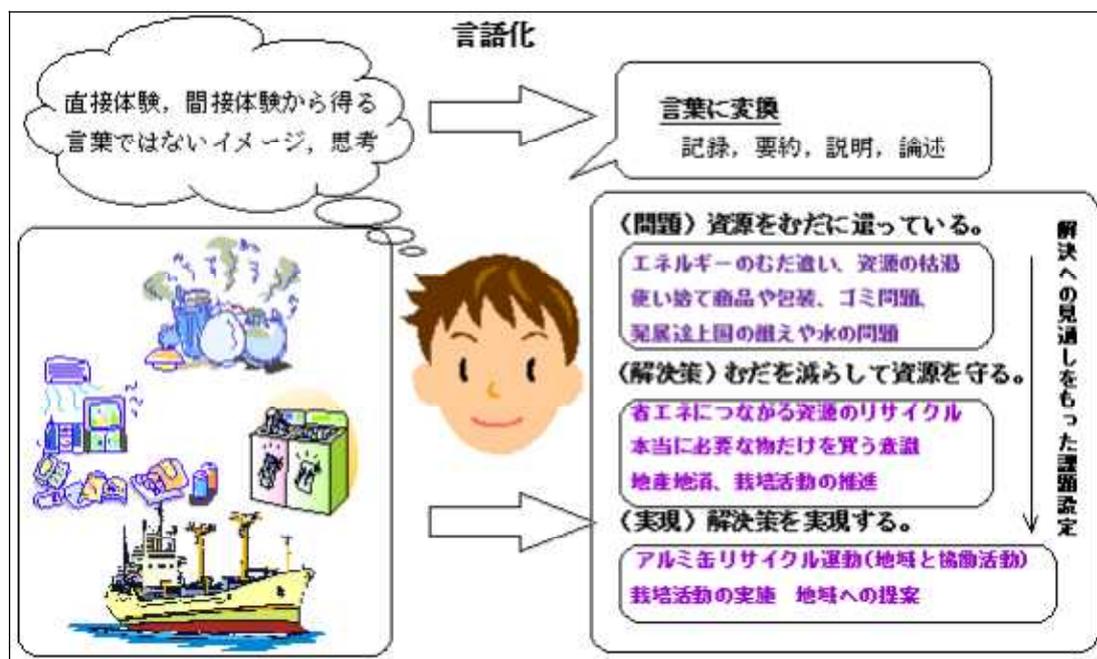
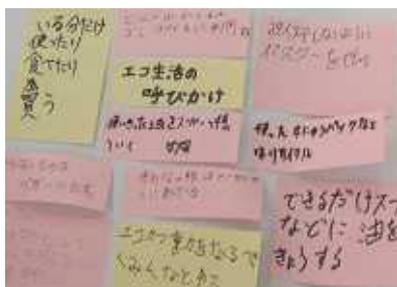


図1 言語化のイメージ

次に、情報と情報の関係を整理して全体像をつかんだり、思考しながら図解に取り組んだりすることで、解決への見通しをもたせた。課題に沿って問題点や解決策を整理し、構造化した図を基に、筋道立てて文章を組み立て、課題を設定することができた。授業時間内に具体的な解決策を絞り込むことができないグループもあったが、設定した期限内までに話し合い、調整を終えて報告することができた。

- (2) 意見交換や検討、討議など、互いに学び合う学習活動の工夫
グループでの企画会議に、他の児童がもつ情報を生かす



資料1 集まった情報



資料2 付せんを分類

課題別グループの話し合いに、他のグループの児童が集めた情報を付せんに書いてわたすことで、話し合いの材料が増え、内容が充実した。当初、課題を「リサイクル活動で資源を守る～再資源化(Recycle)～」と設定していた資源グループが着目したのは、「使った油をスーパーへ」「いる分だけ使ったり、食ったり、買ったりする」ことであった。課題を「むだを減らして資源を守る」に変更し、「何回も使う(Reuse)」「いる分だけしか使わない むだを減らす(Reduce)」ことについても調べ、3R活動を開始することにした。他のグループの児童にとっても、自分の意見が反映されることは、課題別グループがそれぞれ個別に存在するのではなく、共通の目的に向かって協同的に活動するということ意識することにつながった。

(3) 児童の自己評価

企画会議後の振り返りでは、それぞれが意見をもち、積極的に様々な視点から意見交換を行うことができたことを評価していた。主体的に活動を行えたことが、意欲の向上につながっている。また、各グループが全体に述べた発表内容は、筋が通り話し合いが充実したものであったことがうかがえた。(資源グループの発表内容)

守ろうぜの地球！今できることを探る企画会議をしよう！			
目標を見付け、今後の計画を立てよう			
	A よくできた	B できた	C もう少し
1 問題の整理	A アイデアマップに、多面的に意見を述べていくことができた。	B マインドマップに、キーワードをつけて意見を述べていくことができた。	C マインドマップに書くキーワードが、悪いつかであった。
2 アイデア	A 意見をともに自分の考えをもち、説明しながら発表することができた。	B 意見をともに、いくつかの考えを提示することができた。	C 自分の考えを提示することができなかった。
3 情報の分類	A 意見を比較、分類する考えを説明しながら、まとまりをつけることができた。	B 意見を比較、分類して、まとまりをつくることができた。	C 意見を比較したり、分類したりすることができなかった。
4 調査の計画	A 調査研究のための見通しをもとに、調べたいことや調査方法、発表時間など、具体的な調査案とその理由をいくつか見出すことができた。	B 調査研究のために、調べたいことや調査方法をいくつか見出すことができた。	C 調査研究のための調査案を見出すことができなかった。
5 協力	A 意見を聞き合ったり、協力して調査案をまとめた。	B 話し合いがすすみ出し合い、協力して調査案をまとめた。	C 一部のメンバーだけが話した。
6 グループの考えの整理	A 自分のグループが計画できるような調査中見込みの調査案を提示できた。	B 各メンバーに考えを提示し、調査中見込みの調査案を提示できた。	C 意見を提示したり、説明したりすることができなかった。
7 全体の立案	A グループでの調査のために、目標、調査内容、スケジュール、役割分担などを、詳しく立案することができた。	B グループでの調査のために、目標、調査内容、スケジュールを、簡単に立案することができた。	C グループでの調査のために、目標、調査内容、スケジュールを、立案することができなかった。
がんばったこと できたとおもうこと	いままでとちがって自分たちで、何をし、こういうことをやるといふことをするために、みんな、熱心で楽しくできた。		
次回がんばろうと思うこと	実行にうつす。		

資料3 資源グループのA児のシート

目標を立て、それに向かってみんなが進んで意見を言ったことがよかったと思います。

今までと違って、自分たちで目的と向き合い、どんなことをやれば達成できるか、あれこれアイデアを出して話し合った。やりがいがあったので楽しかったです。

意見をよく出せた。みんなもいろいろな意見を言えたのでよかった。

みんなが意見を出して、計画を立て、実行に移すことを考えることができた。

資料4 資源グループ4名の自己評価シートの記述